

明日の社会を支える精密工学の最前線

～先進的研究シーズの紹介～

中央大学理工学部は、1949年に発足し、2019年に創立70周年を迎えました。創立当初からの伝統を引き継いだ研究力の高さは国内外に知れ渡っており、現在も110を超える研究室と180名からなる研究スタッフを有し、日夜活発な研究・教育活動を行っています。

そこで今回は、精密機械工学科から4名の講師をお迎えし、最新研究シーズの講演をお願いします。

日頃よりものづくり技術や精密工学に高い関心をお持ちの企業の皆様に、また中央大学との産学連携を希望する皆様のビジネスの一助となりますようご案内申し上げます。

◆ 講演

(1) 『柔らかいロボット：“ソフトロボティクス”により拓く世界』

— ハードウェアによるイノベーションと社会実装への挑戦 —

講師：中村 太郎 中央大学 理工学部 精密機械工学科 教授

(2) 『距離画像センシングが拓く新たな世界』

講師：梅田 和昇 中央大学 理工学部 精密機械工学科 教授

(3) 『複数台の産業用ロボットの協調制御システム』

講師：大隅 久 中央大学 理工学部 精密機械工学科 教授

(4) 『感性に訴えるもの創り・音創り』

講師：戸井 武司 中央大学 理工学部 精密機械工学科 教授

◆ 質疑応答

日時：2021年3月23日（火） 13:20～16:50

方法：Webex によるオンライン配信

会場：中央大学 後楽園キャンパスからライブ配信

参加費：無料

主催：中央大学 理工学研究所 /りそな中小企業振興財団